

主題と人とのかかわりをつなぐ総合単元 構成図Ⅱ

教科・総合的な学習の時間	道徳の時間	特別活動・行事等
<p>「ときめき調査隊」(総合的な学習の時間) 身の回りの歴史を調べよう PART 1 in 太宰府</p> <p>1. わたしたちの福岡県には、どんな遺産や遺物があるのだろうか。 ・太宰府政庁跡、戒壇院、観世音寺など</p> <p>2. 資料を集めよう。 ・太宰府展示館や九州国立博物館 ・現地調査(フィールドワーク) ・インタビュー ・インターネット ・図書館</p> <p>○フィールドワークについて知る。 3. 太宰府フィールドワークをする。 4. まとめ・反省をする。</p> <p>「ときめき調査隊」(総合的な学習の時間) 身の回りの歴史を調べよう PART 2 in 長崎</p> <p>1. わたしたちの九州(長崎)には、どんな遺産や遺物があるのだろうか。 ・出島、グラバー園、崇福寺など ・如鼓動、浦上天主堂、一本柱の鳥居など</p> <p>2. 資料を集めよう ・長崎原爆資料館や長崎歴史文化博物館 ・現地調査(フィールドワーク) ・インタビュー ・インターネット ・図書館</p> <p>○フィールドワークについて知る。 5. 長崎フィールドワークをする。 6. まとめをする。 ・ガイドブックを作る。 ・旅行記を作る。</p>	<p>本当の友達 2-(3) 友情・信頼 「ロレンゾの友達」 (本時)</p>	<p>運動会 組体操 応援練習</p> <p>心のノート 友だちっていいよね P46, 47</p>
<p>「自分たちにできることは」 (総合的な学習の時間)</p> <p>1. ビデオ「知らないあなたとこんにちは」を視聴し、問題意識を持つ。</p> <p>2. 学習課題を決める。</p> <p>3. 課題別のグループに分かれて追求する計画を立てる。</p> <p>4. グループごとに課題を追求する。</p> <p>5. 調べたことをまとめ、発表する。</p> <p>6. 自分にできることは何かを考える。</p>		
<p>相手の意図を聞き取り、自分の主張を伝えよう 「討論会をしよう」(国語)</p> <p>・討論の内容を正しく聞き取ることができる。</p> <p>・討論会で適切な質問や意見を発表することができる。</p>		

第6学年道徳学習指導案

1. 主 題 本当の友達 2－(3) 信頼・友情
資料名「ロレンゾの友達」 (大阪書籍)

2. 主題設定の理由

(1) 子どもの実態について

本学級の子どもたちは、入学式や修学旅行等の行事を通して、友達と協力し合うことの大切さを知っており、互いの考えを認め合いながら行動することができるようになってきている。また、困っている友達に進んで声をかけたり、励ましたりするなど、男女間での仲間意識も育ってきている。しかし、仲がよいあまりに悪いことと分かっているながら見て見ぬふりをしてしまったり、友達の頼みをきっぱりと断れなかったりして、友達に対して厳しい態度で臨むことをためらうことも少なくない。これは、仲良し友達であることに満足し、何か言って友達に嫌われたくないという気持ちが強いことや、忠告し合うことで互いに向上していこうとする気持ちが高まっていないためだと思われる。そこで、社会性が発達し始め、物事を客観的に見つめ、多面的な見方ができるようになってくるこの時期に本主題を設定したい。そして、お互いがよりよく生きるためには、時には厳しい選択をせざるを得ない状況があることを理解し、利害関係にとらわれることなく、本当の友達として正しく行動しようとする道徳的判断力を育てたい。

(2) ねらいとする価値について

本主題の指導内容(高学年2－(3))は、お互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲良く協力し助け合うことの大切さをとらえさせることである。「信頼・友情」とは、お互いの立場や気持ちを分かり合い、よさを信じ助け合っていくことであり、社会生活において望ましい人間関係を築いていく上で基盤になるものと考えられる。

○ 人とのかかわりから

真の友情を育てていくためには、ともによりよく生きていこうとする願いをもちながら励まし合い、時には切磋琢磨していくことが大切である。学校生活や社会生活においてお互いがそのような経験を乗り越えることによってよりいっそう心を結びつける事ができると考える。

○ 小中連携から

中学校に進学すると友達関係がより難しくなると考えられる。そこで望ましい人間関係を築き、お互いによりいっそう心を結びつけることができるために自分自身はどんな友達を求めているのか、そのためには自分自身はどうあるべきなのかを考える良いきっかけをつくりたい。

本主題は、中学校の「友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、助け合う」学習へと発展するものである。

(3) 資料の活用について

本資料「ロレンゾの友達」は20年ぶりに故郷に戻ってくるロレンゾが警察に追われていることを知り、友人であるアンドレ、サバイユ、ニコライの3人がそれぞれ自分だったらどうするかを考える場面を設定している。三人ともロレンゾを大切に思っている気持ちをもっているが、その考え方には違いがある。お金を渡して逃がそうとするアンドレ。本人を説得して、納得しないなら逃がそうとするサバイユ。説得してだめなら、警察に連絡するというニコライ。結局、ロレンゾは無実であったが、本資料は自分や相手がよりよく生きるためにはどうすればよいのかを三つの立場から考えることで、友情のあり方を深く追求できると考える。

本主題の指導にあたっては、「アンドレ、サバイユ、ニコライ」のいずれかの立場に立たせ、自分の選択した立場について交流することによって、十分に考えをまとめさせたい。そして、本当の友達として自分はどうすべきかを考え、真の友情を育もうとする道徳的判断力を育てたい。

3. ねらい

- (1) 互いがよりよく生きるためには、時には厳しい選択をせざるを得ない状況があることを理解し、利害関係にとらわれることなく、本当の友達として正しく行動しようとする道徳的判断力を育てる。
- (2) 書く活動を通して「アンドレ、サバイユ、ニコライ」のいずれかの立場から自分の考えをもたせ、交流活動を通して、それぞれの立場から真の友情に対する考え方の相違点を明確にさせ、真の友情に対する自他の考えの不十分さやよさを見つけ、自分の考えを高めることができるようにする。

4. 準備

アンドレ、サバイユ、ニコライのさし絵、ロレンゾのシルエット絵、学習プリント、心のノート

5. 展開

段階	学習活動と内容	指導上の留意点
導入	1. 資料「ロレンゾの友達」を読み、場面の状況をつかんだ後、めあてをつかむ。	○ 資料「ロレンゾの友達」を読ませ、感想を出し合わせることで追求したいことを明らかにし、本時学習への方向づけを図る。
展開 前段	<p>アンドレ…そのまま逃がす サバイユ…自首をすすめて、納得しなかったら逃がす ニコライ…自首をすすめるが、納得しなかったら警察に連絡する</p> <p>めあて 友達を思う心について考えよう。</p> <p>2. 自分だったらどの立場を選択するか、またその考えを選んだわけを学習プリントに書く。</p> <p>3. 自分がとった立場で友達としてどう行動すべきかを根拠をはっきりさせながら、話し合う。 ○ 自分が選択した人物の考えを出し合う。 ○ お互いの考えの不十分な点を出し合う。</p> <p>アンドレの立場 ・ロレンゾがかわいそうだ。 ・友達を助けるのはあたりまえだ。 ・自分が罪になっても助けるのが友情だ。</p> <p>サバイユの立場 ・ロレンゾの気持ちを大切にしたい。 ・自首をすすめるのもロレンゾのためだ。 ・ロレンゾが納得しないのに、警察に言うことはできない。</p> <p>ニコライの立場 ・このまま逃げても苦しいだけだ。 ・このまま逃げたら、罪を重ねることになる。 ・今はロレンゾに恨まれてもきつといつか分かってくれる。</p>	<p>○ 状況図を提示し、3人の置かれている状況や考え方を正しく把握させる。</p> <p>○ 刑事の話信じられなかったことからロレンゾの友達からの信頼を確認させる。</p> <p>○ 自分がその立場を選択する根拠をもたせたり、他の立場との相違点を明らかにさせたりして一人一人に考えをもたせる。</p> <p>○ 交流を通して、三人の考えの相違点を明らかにしながら、アンドレやサバイユの自分が嫌われたくないという思いがないか。その思いが正しい判断をできない要因になっていることに気付かせる。</p> <p>・自分が罪になっても…という気持ちはすごいけれど、かばうことが本当の友達なのかな。</p> <p>・逃がすことはロレンゾのためになるのかな。</p> <p>・警察に連絡するなんてニコライは冷たいよ。だけど、ニコライのように先のことを考えるのは大切かもしれないな。</p>
展開 後段	<p>4. 交流を通して高まった考えをもとに、本当に友達を思う心は何か考える。</p> <p>・ロレンゾから嫌われたとしても、ロレンゾのことを思って、厳しい態度を取ることができる心も必要かもしれない。 ・自分にはできないかもしれないが、お互いが将来幸せになるためには、ニコライの選択がよいと思う。</p> <p>○ 本当にニコライの選択が幸せだと言えるのだろうか。 ・これまでの絆があれば分かってくる。 ・お互いのことを大切に思っているから。</p>	<p>○ 交流後の考えを学習プリントに書かせ、友達のためには厳しさをもって接することも大切であることに気付かせ、ねらいとする道徳的価値にせまらせる。</p> <p>○ 自分の考えの変容した根拠を学習プリントに書かせることで、互いの考えのよさを再認識させる。</p> <p>○ 真の友情を支えるものはお互いの信頼関係であることを捉えさせる。</p>
終末	<p>5. 今日の学習を終えて思ったことを話し合う。 ○ 思ったことやこれからの生活に生かしたいことを学習プリントに書く。</p>	<p>○ 学習プリントに書かせることで、高まった自分に気付かせ今後の生活への意欲づけを図る。</p>